

会議名称	平成20年度 第2回北本市地域公共交通会議
開会及び閉会日時	平成20年10月24日(金) 午前10時から正午
開催場所	文化センター第3会議室
議長氏名	副市長 山島 則義
出席委員職氏名	1号委員 山島 則義 2号委員 梶原 薫、長谷川 洋司 3号委員 鶴岡 洋(代理出席)、小林 幸平 4号委員 白石 春彦、高荷 正春、新井 卓一(代理出席) 川村 洋二(代理出席)、堀部 雅澄 5号委員 田中 力 6号委員 井上 修 7号委員 高橋 眞太郎、櫻井 文夫 大高 孝三
欠席委員職氏名	4号委員 永渕 元彦
説明者の職氏名	東京大学 工学系研究科 システム創成学専攻 助教 稗方 和夫 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 人間環境学専攻 研究員 本多 建
事務局職員職氏名	総合政策部長 谷澤 暢 政策推進課長 吉野 一 政策推進課 主幹 三橋 浩範 政策推進課主任 深谷 俊行
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 オンデマンドバスシステム説明会 4 議 題 (1) 今後の進め方について (2) その他 5 閉 会

配布資料	○東京大学柏キャンパスオンデマンドバスプロジェクト ○オンデマンドバスシミュレーション
------	--

発言者	発言内容・決定事項
	司会進行 事務局（政策推進課長）吉野 一
事務局	1 開会
副市長	2 あいさつ
助教 稗方	3 オンデマンドバスシステム説明会
議長 山畠	4 議題 (1) 今後の進め方について 議題であります今後の進め方についてですが、先ほどのオンデマンドバスシステムの説明を聞いての皆様の見解をお伺いします。
小林委員	タクシー事業者がオンデマンドバスシステムにて運行を行う場合は、一般乗用旅客自動車運送事業の許可のみでよいのか。
田中委員	一般乗合旅客自動車運送事業の許可が必要となり、法令試験に合格してからの運行許可となります。なお、バス事業者については、オンデマンドバス運行に関して新たに許可は必要ありません。
田中委員	市では、実証運行をオンデマンドバスとして実施するとなった場合に、運行区域や対象年齢等どのように考えているか。
事務局	交通弱者、交通空白地域、高齢者を対象として実証運行を行っていきたいと考えています。
議長 山畠	事務局で具体的な実証運行案を考えていますか。
事務局	区域については、市内全域。年齢については、高齢者となると65歳以上となるが、定年を迎えた60歳以上。利用時間については、通勤通学時間帯を外して午前8時から午後6時。料金については、バスの初乗り料金の170円より高く、タクシーの初乗り料金710円より安い、200円から300円を考えています。

発言者	発言内容・決定事項
堀部委員	オンデマンドバスは、どこが発祥なのか。
本多研究員	発祥地については、不明であるが、イギリスで発達しているシステムです。
白石委員	オンデマンドバスの導入について調査を始めたのは、利便性の向上、環境負荷への配慮、財政への負担軽減、地域振興のどれが目的なのか。
事務局	全てを目的としています。
堀部委員	オンデマンドバスを市の活性化に利用し、繁華街等への送迎についても使ってはどうか。
事務局	実証運行案では、午後6時位までの運行時間としているが、今後、運行時間や利用目的についても地域公共交通会議の中で検討していただきたい。
大高委員	今後は、コミュニティバスやオンデマンドバスでの運行、運行時間、運行区域、対象者、運賃等、様々な状況を想定しシミュレーションを行い会議に示していただき、それについて検討していく方法が良いのではないかと。
事務局	シミュレーション結果を、地域公共交通会議の中で検討していただき、北本にあったものを選んでいただきたい。
白石委員	いつまでに実証運行を始めるのか。
事務局	平成21年度中に実証運行を開始したいと考えています。
高荷委員	既に長い時間検討をしているので、遅くとも平成21年10月くらいには、実証運行を開始したほうが良いのではないかと。
事務局	今後、地域公共交通会議の中で検討を進めていき、なるべく早い時期での実証運行を開始したいと思いますので、委員の皆様のご協力をお願いします。

発言者	発言内容・決定事項
堀部委員	運賃については、できるだけ安価に設定したほうが利用者に対する負担も少なく、利用率が向上するのではないか。
高荷委員	運賃については、利用者負担のことも考えていかなければいけない。実証運行を実施していき、よい方法を見出していければいいのではないか。
堀部委員	運行方法等について、北本に合ったものとしていくために、広く意見を聞いたほうが良い。
事務局	アンケートを実施するなど、意見の聴取方法について検討していきます。
高荷委員	実証運行を開始したら、やめられなくなるのではないか。
事務局	実証運行を行っていく中で、利用者が少なく、費用対効果も得られないということであれば、地域公共交通会議で検討を行いたいと考えている。
議長 山島	これまでの議論を踏まえ、次回の会議では、事務局で様々なシミュレーションを行い、委員の皆様を示せるよう準備するという事によろしいでしょうか。
委員全員	— 了 承 —
事務局	<p>次回の会議は、来年1月くらいに予定させていただきます。</p> <p>5 閉会</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

平成20年11月20日 会長

山島 則義